伝える×伝わる×対話する

人と情報をつなぐ、日本発の「伝えるAI」。

「考えるAI」と連携し、さらに広がる可能性。

考えるAI
調べる・分析する・提案する
（生成AIなど）

連携・共存

伝えるAI スマートアバター®
分かりやすく伝える・
繰り返し説明する・対話する

伝える
文字・画像・データを、
表情・仕草・音声・映像で
分かりやすく説明

伝わる
言語・年齢・理解の違いに
配慮し、
「理解・納得」につなげる

対話する
質問に応じて説明し、
双方向の
コミュニケーションを実現

伝える業務のDX〈伝わるDX〉
— 情報を、誰にでも、分かりやすく、いつでも、何度でも —

3つの製品ライン

Action❶	番組生成PC版	原稿や資料から、説明コンテンツ（番組）を簡単に作成
Action❷	データ連携自動発信API	社内・外部データと連携し、最新情報を自動で発信
Action❸	対話型AI（WEB生成版）	質問に応じて、アバターが説明・回答する対話サービス

コンテンツ作成支援
企画・構成・原稿作成など、
伝わるコンテンツづくりをサポート

無償オプション（PC版ユーザー）
- 遠隔操作案内
- ネットTV（情報発信・社内TV）

広がる活用シーン（主要5分野）

交通

駅・車内案内、
多言語対応、運行情報

医療

患者説明、
同意支援、院内案内

企業

安全教育、技術継承、
社内外説明、採用

行政

市民案内、手続き説明、
防災・災害情報

教育

授業・学習支援、
多言語・特別支援教育

多様なデバイスで利用可能

PC（作成・視聴）

サイネージ（案内・発信）

タブレット（現場・学習）

スマートフォン
（いつでもどこでも視聴・対話）

番組生成PC

番組生成API

BOND
研究・開発元：有限会社BOND　福岡県北九州市小倉北区西港町122－10
電話093（561）5521　power@f-bond.co.jp　https://f-bond.co.jp

日本発「伝えるAI」が、情報伝達の未来を変える

―「伝える業務」を変え、人の時間と組織の価値を生み出す―

01｜日本で生まれ、現場で育まれた「伝えるAI」

生成AIの進化により、情報の収集・分析・文章生成が容易になりました。しかし、情報が正しくても、相手に理解され、納得されなければ、その価値は十分に発揮されません。BONDは2012年から、AIエージェント「スマートアバター®」を商品化。繰り返す説明、人手不足、技術継承、多様な人への情報伝達といった日本の現場課題に向き合い、独自の技術を研究・開発してきました。「考えるAI」と「伝えるAI」は、競争ではなく共存・共創する関係。BONDの技術は生成AIの代替ではなく、さまざまなAIや情報システムと連携し、その成果を人に分かりやすく届ける独立した技術です。

02｜BONDだから実現できる、3つの強み

① 特許技術を活用した3Dキャスターの自動演出

文字・画像・PowerPointなどから、キャラクターの表情・仕草・音声・照明・カメラワークを自動演出。専門的な映像制作技術がなくても、分かりやすい説明コンテンツを作成・更新できます。単なる音声読み上げではなく、「どう伝えるか」まで支援する独自技術です。

② 2012年からの商品化と、多様な現場での実用化

企業・教育・交通など、異なる分野で導入実績を蓄積。安全教育、社員研修、学習支援、施設案内など、現場で実際に使われてきた経験が、製品の実用性と継続的な改良を支えています。

③ 制作・更新・自動発信・対話まで広がる仕組み

担当者自身が制作するPC版、外部データと連携する自動発信、生成AIと連携した対話型サービスへ展開。コンテンツ作成支援やPC版ユーザー向けの無償オプション（遠隔操作案内・ネットTV）も用意し、継続的な運用を支えます。

03｜導入によって、現場と人の働き方が変わる!?

企業・建設会社｜安全教育・技術継承・人材育成

繰り返す説明をコンテンツ化し、教育内容の標準化や継続活用を支援。
熟練者の経験や技術を組織の資産として残し、社員がより重要な業務に集中できる環境づくりに貢献します。

学校教育｜先生の説明を補い、主体的な学びへ

授業や学校生活の共通説明を補い、先生が子どもと向き合う時間を確保。
児童・生徒自身が情報を整理し、人に伝える学びや、一人ひとりの理解に応じた学習を支援します。

交通｜多言語案内と、リアルタイムな情報発信へ

駅・空港・公共交通機関での施設案内や乗換案内、運行情報などを分かりやすく発信。
外国人や高齢者にも配慮し、移動の安心と利便性を高めます。

行政｜平常時から災害時まで、誰も取り残さない情報伝達へ

行政手続きや公共施設の案内を効率化。
災害時にはデータ連携による情報発信や多言語対応で、住民への迅速で分かりやすい情報提供を支援します。

医療｜共通説明を補い、個別のケアへ

患者案内、感染症対策、職員研修などの共通説明を支援。
医療従事者が患者一人ひとりの相談やケアに時間を振り向けられる環境づくりを目指します。

04｜導入費用ではなく、将来の価値を生む投資へ

スマートアバター®への投資は、単なる動画制作費ではありません。説明時間の削減、品質の均一化、多言語対応、情報更新の迅速化、教育コンテンツの資産化など、組織の「伝える力」を高める投資です。
例えば、10分の共通説明を1日20回、年間250日行う場合、説明業務は年間約833時間。その一部を自動化できれば、人の時間をより重要な業務へ振り向けられます。
さらに、生成AIや既存システムとの連携により、新たなサービスや事業の創出にもつながります。
人を減らすためではなく、人の価値を高めるために。
BONDは、交通・医療・企業・行政・教育の5分野で、
「伝える業務のDX（伝わるDX）」を通じ、人とAIが共存する社会の実現を目指します。

BOND
研究・開発元：有限会社BOND
福岡県北九州市小倉北区西港町122－10　電話093（561）5521　power@f-bond.co.jp　https://f-bond.co.jp